

報告事項

令和2年度 事業計画及び収支予算について

(令和2年4月1日より令和3年3月31日まで)

事業計画 方針

日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言発令後、企業の営業休止や在宅勤務の推進等の動きが進み、事態の深刻度が再認識されたことで4月以降の内需は一段と落ち込むことが避けられない。さらに海外経済もコロナの影響で急激に落ち込んでおり、日本からの輸出減も必至である。特に4～6月期の悪化度は前期比年率23%減と記録的な悪化と予想されている。

我が業界もこのような社会経済情勢をしっかりと認識し、柔軟に環境の変化に対応していくことが求められております。

当工業会としては、コンクリートブロックによる建造物の安全性と信頼感を確保し、その有益性と有用性などの関連情報を正確に社会に伝え、利用価値を上げていきたい。設計規準の枠を超え、幅広い活用を図り、省エネや住環境のニーズに対応し、且つ少子高齢化社会に適応した技能士の態勢作りや工事現場の実情に適応する必要があります。

したがって本年も、実行計画（アクションプログラム）を手抜きなく、一步一步実行し続けることが大変重要であります。

今年度はJIS A5406の改正作業を9月から1年間の予定でJIS原案作成委員会を主催し、進めてまいります。さらに技能士の育成はじめ、設計及び施工管理に関わる技術者に対して情報の提供を行い、これら事業活動を支える当工業会の組織の強化と、工業会の事業基盤を高めるために本年度は会員の増強にも積極的に取り組んでいく方針です。

全国にはJIS A5406の認証工場が106工場（4月1日現在）あるので、これら認証工場の中で工業会に加盟していないメーカーに入会を呼び掛けていく。また経年劣化の診断には日本エクステリア建設業協会（JPEX）が推進する「ブロック塀診断士」が大きな役割を果たすことから、当工業会としても今後もJPEXへの支援を行っていく。

以上、全会員の協力を得て、人と環境にやさしい建材としてコンクリートブロックが社会に一層の貢献ができるよう、そして建築用コンクリートブロック業界の発展に寄与することを目指します。

■ 委員会活動の活性化

それぞれの委員会がブロック業界の現状を十分認識して、活発に活動することで、建築用コンクリートブロック業界全体の活性化と発展に寄与いたします。

①運営委員会

- ・工業会全般についての方針決定、関係諸機関との連絡、提携及び協力。

③ コンプライアンス委員会

- ・ J I S A 5 4 0 6 建築用コンクリートブロックの改正の準備検討をする。
- ・ 日本建築学会の材料・施工関係の委員会、壁式構造関係の委員会へ委員の派遣。

③製品普及委員会

- ・ 建築用コンクリートブロックの安全講習会を各地で実施。
- ・ 魅力的なホームページの作成
- ・ ブロックの安全性、有効性、デザイン性等、各委員に役割を分担し、ホームページを通して建築用コンクリートブロックの普及を目指す。

④ 広報委員会

- ・ 機関誌 J C B A ニュースの発刊
- ・ 令和3年カレンダーの制作

⑤構工法研究委員会

- ・ 日本建築学会と連携を図りながら充填目地工事の品質性能の確認と技術的知見の検証を行う。
- ・ 活動内容に基づき情報収集を行い、調査、研究を行う。
- ・ 取りまとめた資料、情報を会員企業に提供する。

⑥人材育成委員会

- ・ 技能士試験対策として、直近の過去問集を発行し、講習会を全国数か所で開催、多くの受検生の獲得を目指す。

⑦れんが研究委員会

- ・ 日本れんが協会と協働で工場視察や現場視察などを実施し、れんが及びブロック業界のこれからの経営者と幹部の育成と友情を築き、将来の危機に対応できる集団を目指す。

■ 講演会の開催

啓発、普及活動として、出席者の知識向上を図る内容の講演会を開催することに努力いたします。

■ 国内研修会の実施

昨年に続いて国内研修会を開催してコンクリートブロックの現状を把握し、参加者自身で知識を吸収し、製品開発に役立て、会員各社の事業拡大に貢献するため研修会を実施いたします。

■ 技能士制度の啓発

関係諸機関、関連団体と連動して技能士制度の育成、PRに努めます。

■ 関係諸機関との提携及び連絡

関係学会・団体等に前年に引続き委員を派遣し、関係機関との連絡、調整に当たります。

- ・(一財) 日本規格協会
- ・(一財) 建材試験センター
- ・(一社) 日本建築学会
- ・(公社) 日本エクステリア建設業協会
- ・中央職業能力開発協会

■ 継続事業

- ・機関誌「J C B Aニュース」の発行
- ・建築用コンクリートブロックカレンダーの制作
- ・パンフレット「あんしんなブロック塀をめざして」の有効活用
- ・ホームページの改編